

あつぎSDGsパートナー登録証



あ つ ぎ S D G s

合同会社ロコムテック 萩原AIPS 研究所

SDGsの達成に向け、厚木市と共に取り組む
「あつぎSDGsパートナー」として登録します。

令和6年9月23日

厚木市長 山口貴裕



厚木市産材
(ヒノキ)



厚木市産材
(ヒノキ)

合同会社ロコムテック 萩原 AIPS 研究所



第3期あつぎSDGsパートナー登録式 次第

日時 令和6年9月23日（月）

午前10時30分から

場所 アミューあつぎ9階 ホール112

第1部 登録証授与式

1 開会

2 登録証授与

3 記念撮影

4 挨拶

(1) 山口 貴裕 厚木市長

(2) 山下 ゆかり 厚木市地方創生推進プロジェクト実行委員長

5 閉会

第2部 基調講演（30分程度）

テーマ：パートナーシップで広げよう！SDGsの未来

神奈川工科大学 工学部 応用化学生物学科

教授 高村 岳樹 様

※講演終了後、質疑応答を予定しています

第3期あつぎSDGsパートナー（五十音順）

No.	企業等名	登録日	期
1	株式会社アイネックス	令和6年9月23日	第3期
2	株式会社厚木ガラススタジオ	令和6年9月23日	第3期
3	厚木倶楽部	令和6年9月23日	第3期
4	合同会社厚木珈琲	令和6年9月23日	第3期
5	厚木商工会議所	令和6年9月23日	第3期
6	株式会社伊藤園	令和6年9月23日	第3期
7	有限会社井上コピー社	令和6年9月23日	第3期
8	認定NPO法人WE21ジャパン厚木	令和6年9月23日	第3期
9	株式会社Voleur	令和6年9月23日	第3期
10	株式会社内田造園	令和6年9月23日	第3期
11	as markets	令和6年9月23日	第3期
12	株式会社エクステリアパル	令和6年9月23日	第3期
13	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 厚木事務所	令和6年9月23日	第3期
14	共和サービス警備保障株式会社	令和6年9月23日	第3期
15	厚木市立小鮎小学校	令和6年9月23日	第3期
16	株式会社KOYO	令和6年9月23日	第3期
17	株式会社こころ	令和6年9月23日	第3期
18	三愛電子工業株式会社	令和6年9月23日	第3期
19	合同会社しんわーく	令和6年9月23日	第3期
20	積水ハウス株式会社 神奈川中央支店	令和6年9月23日	第3期
21	ゼロフォー株式会社	令和6年9月23日	第3期
22	田中紙業株式会社 厚木工場	令和6年9月23日	第3期
23	つくりて合同会社	令和6年9月23日	第3期
24	ツナガルあつぎ	令和6年9月23日	第3期
25	東立化工株式会社	令和6年9月23日	第3期

No.	企業等名	登録日	期
26	日本郵便株式会社 厚木市内全郵便局 (代表郵便局 厚木上依知郵便局)	令和6年9月23日	第3期
27	ニンジャスワットアカデミー神奈川分校	令和6年9月23日	第3期
28	株式会社ハーモナイズ	令和6年9月23日	第3期
29	株式会社ファーマプランニング	令和6年9月23日	第3期
30	合資会社三河屋	令和6年9月23日	第3期
31	緑乃合同会社	令和6年9月23日	第3期
32	有限会社山口建材	令和6年9月23日	第3期
33	株式会社大和商會	令和6年9月23日	第3期
34	Yamcery Farm	令和6年9月23日	第3期
35	特定非営利活動法人ゆくりこ	令和6年9月23日	第3期
36	LINKBALL株式会社	令和6年9月23日	第3期
37	合同会社ロコムテック 萩原AIPS研究所	令和6年9月23日	第3期



パートナーシップで広げよう！ SDGsの未来

神奈川工科大学の地域連携とSDGsの紹介

はなすひと

高村 岳樹 (たかむら たけじ)

神奈川工科大学 工学部 応用化学生物学科 教授

教育におけるSDGsの実践

SDGs拠点形成に向けた環境教育プログラム

環境分析が専門



SDGs?



**Sustainable
Development Goals**
国連が17の相互関連目標を
採択



17 Goals
17つの目標は広範囲にわた
る持続可能な開発



Adopted in 2015
2030年までにより良く持続
可能な未来を実現する

SDGs は、より公正で平等な豊かな世界を目指す包括的な枠組みを提供します。

SDGsの歴史

• 2001

ミレニアム開発目標
(MDGs) の制定

• 2016

SDGs正式発効

• 2020

COVID-19

• 2015

17の持続可能な開発
目標の設定

• 2019

SDGサミット

• 2021

2021年から
2030年は行動
の10年

Days to meet our goal

2293日13時間30分

The Goal

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの17の目標

- 1 貧困をなくす
- 2 飢餓ゼロ
- 3 健康と幸福
- 4 質の高い教育
- 5 男女平等
- 6 きれいな水と衛生
- 7 手頃な価格のクリーンエネルギー
- 8 働きがいのある人間らしい仕事と経済成長
- 9 産業、イノベーション、インフラ
- 10 格差の縮小
- 11 持続可能な都市とコミュニティ
- 12 責任ある消費と生産
- 13 気候変動対策
- 14 海の生命
- 15 陸上の生命
- 16 平和、正義、そして強力な制度
- 17 目標達成のためのパートナーシップ



“No one should be left behind.”

「誰も取り残されるべきではない」

ANTÓNIO GUTERRES, UNITED NATIONS SECRETARY-GENERAL

アントニオ・グテーレス、国連事務総長

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ

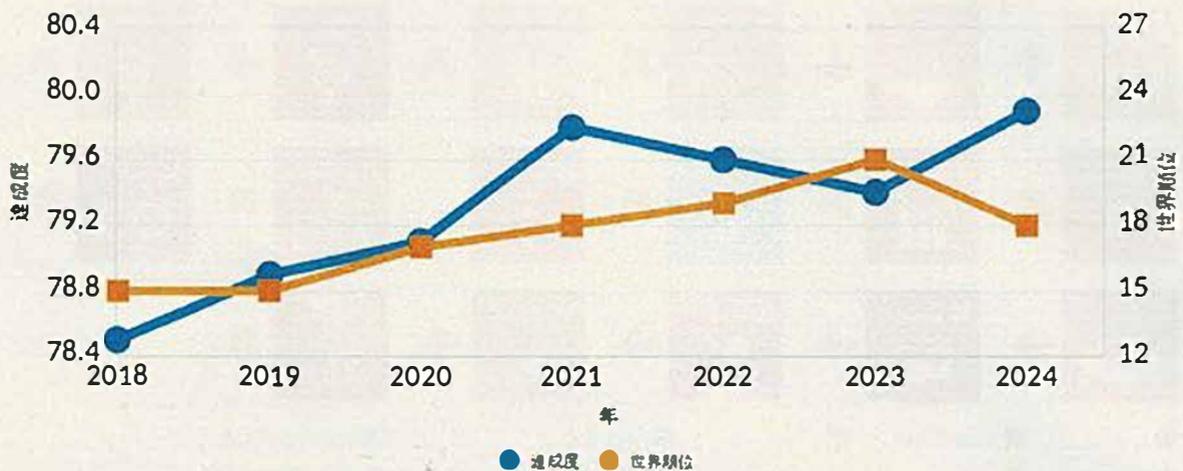
2015年9月25日第70回国連総会で採択

持続可能な開発を、経済、社会及び環境というその三つの側面において、バランスがとれ統合された形で達成する



朝日新聞 SDGs アクション <https://www.asahi.com/sdgs/article/15334056>

日本のSDGs達成度



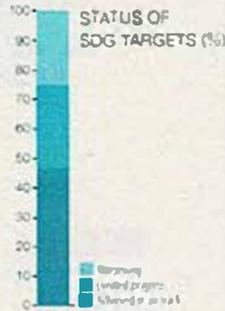
2024年の日本のSDGs達成度

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING **18** /167

COUNTRY SCORE **79.9**
REGIONAL AVERAGE: 77.2

AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



SDG DASHBOARDS AND TRENDS

Sustainable Development Report 2024

2024年の日本のSDGs達成度



達成度の低い開発目標



59%

ジェンダー



56%

海の生き物



67%

責任ある消費と
生産



63%

陸の生き物



75%

気候変動対策

13

パートナーシップで取り組むSDGs

個々の課題解決から地域の課題解決へ

個々の取り組み

企業や団体、個人がそれぞれができることから始める。自社のビジネスプロセスの改善や製品・サービスの開発など、自らの活動の中でSDGsに貢献する。

パートナーシップ

企業や団体、NPO、大学などが協力し合い、それぞれの強みを活かしながらSDGsに取り組む。互いに連携することで、より大きな変化を生み出す。

地域全体での実践

地域のステークホルダーと協力しながら、地域の課題解決に取り組む。地域コミュニティの中で、SDGsの実現に向けて行動する

14

SDGs達成に向けた個々の取り組み

- **企業の取り組み**

企業が自社の事業活動を通じてSDGsの達成に貢献するための取り組み。製品・サービスの開発、サプライチェーンの改善、従業員の意識向上など。

- **政府の取り組み**

政府がSDGsの達成に向けた政策を立案・実施。法制度の整備、インフラ投資、金融支援策の導入など。

- **NGOの取り組み**

NGOがコミュニティに密着した活動を通じて、SDGsの課題解決に貢献。教育、保健医療、環境保全などの分野で実践的な支援を展開。

- **学の取り組み**

あらたなイノベーションの創出やナレッジの共有、教育を通じたSDGs達成への貢献。

15

パートナーシップでSDGsを達成しよう（例）

- **企業とNPOの協力**

企業の経営資源とNPOの専門性を組み合わせ、SDGsの課題解決に取り組む。企業がCSRとして、NPOの活動を支援する。

- **自治体とコミュニティの連携**

地方自治体がコミュニティと連携し、地域の課題に合ったSDGs施策を実施する。自治体の財政支援とコミュニティの自発性を組み合わせる。

- **教育機関と企業の産学連携**

大学や専門学校が企業と連携し、SDGs人材育成プログラムを開発・提供する。企業が新卒採用や社員教育の場として活用する。

- **国際機関と地域社会の協力**

国連などの国際機関が地域の課題解決に取り組む団体をサポートする。専門性と資金面での支援により、地域主導のSDGs実現を後押しする。

16

地域からはじめるSDGs



食に関する取り組み 地産地消の推進

フードバンクの設立
コミュニティガーデン



社会に関する取り組み 多文化共生

高齢者や障がい者への支援
地域の歴史・文化の継承



環境に関する取り組み ごみ分別とリサイクル

再生可能エネルギーの導入、
緑化活動



教育に関する取り組み 地域で学ぶ場づくり

生涯学習の推進
デジタルリテラシーの向上

17

あつぎSDGsポータルでつながろう

1

ゼロカーボンシティ宣言

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを
目指しています。再生可能エネルギーの普及促進、省エ
ネルギーの推進、ごみの減量化・資源化、森林整備など
に取り組んでいます。

2

あつぎSDGsパートナー

SDGsの達成に向けた取り組みを進める企業、団体、教育
機関などを「あつぎSDGsパートナー」として登録し、地
域課題の解決に向けた連携を深めています。

3

まちのコイン「アユモ」

スマートフォンアプリ「まちのコイン」を通じて、市民
がSDGsを実践しながら市内店舗でお得なサービスを受け
ることができます

4

SDGs学習ボードゲーム

子どもから大人まで楽しめるSDGs学習ゲーム「Get The
Point」の厚木市版を作成し、普及・啓発活動を行ってい
ます。

5

防災の取り組み

防災に関する情報を発信し、一人ひとりが安心して暮ら
せるまちづくりを目指しています。

6

ネイチャーポジティブ宣言

厚木の豊かな自然を保全・回復し、次世代へ継承するた
めの取り組みを行っています。

18

令和元年度自治体SDGsモデル事業②

神奈川県小田原市 人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造

恵まれた自然環境・気候条件、歴史的に育まれてきた技術や、地域の神などの社会的価値を涵みとし、「ふるさと市民学校」によるつくりやつなごの強化を中核に、ポイント価値による「つながり見える化」(Society 5.0)実践研究を通じて、「いのちを守り育てる地域自給圏」を創造し、豊かで、安全で、持続可能な暮らしを実現する。



神奈川工科大学のSDGs連携



学生主体の
様々なSDGsプ
ロジェクト



研究でのSDGs
連携



カリキュラム
にSDGs関連科
目を導入



企業、NPOと
の連携

神奈川工科大学は、組織、教育、学生活動の各側面からSDGsの達成に取り組んでいます。今後もこうした取り組みを継続し、持続可能な社会の実現に貢献します。



KAIT SDGs Hub

学生主体のSDGs活動

1. 神奈川工科大学の学生組織として、SDGsの実践に取り組んでいます。
2. 学内外のSDGs関連活動に参加し、その内容や感想を発信していきます。
3. 地元企業への見学・意見交換など対面型での活動も積極的にすすめています
4. フットワークが軽く即応できます。見学、意見交換といった活動を活発に行っております。
5. 災害に備えておくこともSDGsのテーマとしてKAIT SDGs HUBでは取り上げていきます。

21

KAIT SDGs HUBの活動

- 1 水素を発生する微生物についてのミーティング
- 2 海洋発電に関する発表とミーティング
- 3 外部のSDGsワークショップへの参加
- 4 自動車のカーボンニュートラルについてのセミナーに参加
- 5 あつぎ市民発電所とのミーティング
- 6 独立行政法人 国際協力機構JICAとのミーティング
- 7 神奈川県内広域水道企業団とのミーティング



22

KAIT SDGs HUBの活動



海老名のインクルージョンフェスでSDGsゲームを実施



厚木市企画政策課とSDGs HUB学生とのSDGsイベント実施の打ち合わせ

23

防災・災害ケアの取り組み



「医療的ケア児における地域の災拠点(神奈川工科大学)の見学会」協力



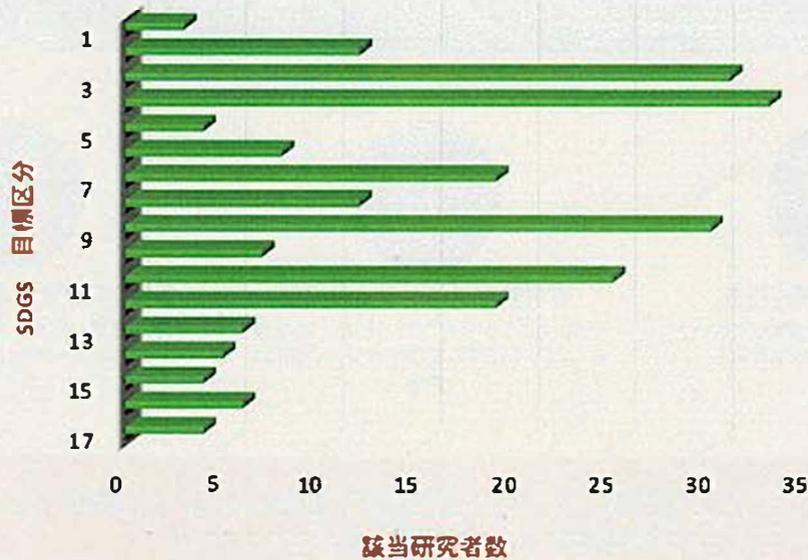
「厚木市障害者協議会防災プロジェクト」大学の避難対応見学・自己チェックリスト作成・医療関連講義の実施



産学官民による防災・災害対策に係る意見交換会

24

本学のSDGs目標に該当する研究者



研究における連携

厚木市中小企業等SDGs推進事業補助金



補助対象者がSDGsの視点を踏まえて行う新製品や新技術の開発に助成

200万+50万（大学との産学連携の場合）



空き飲料容器類の再資源化分別処理を性別、年齢、障害者問わず誰もが従事できるようにし、働き方を「作業」から「管理」へシフトチェンジする事業

【産学共同開発】情報工学科 宮崎



RFIDタグを用いた資材管理システムによる産業廃棄物の削減及びそのテスト環境の構築

【産学共同開発】先進技術研究所 所長 一色

地域社会と環境にプラスの影響を与えることができるSDGsの達成に貢献する地元中小企業の取り組みを支援するという厚木市の取り組み

SDGs活動支援拠点形成に向けた大学発環境教室プログラムの実施



SDGs活動支援拠点形成
 大学が中心となり、SDGs実践に向けた活動拠点を形成する取り組み



環境教室プログラムの実施
 地域住民や学生を対象とした、SDGs達成に向けた環境教育プログラムの開発と実施



多様なステークホルダーの参画
 大学、企業、行政、NPOなど、様々なステークホルダーが協力して取り組む体制づくり

大学が中心となり、SDGsの達成に向けて地域社会と連携しながら、教育プログラムの開発や活動拠点の形成に取り組んでいます。

市民と官・学連携シンポジウム

シンポジウム
海洋問題とブラステック
 分析微生物研究の今

「海洋問題における「微生物」によるマイクロプラスチック汚染問題」
 藤野 真由美 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 2019年9月、東京大学 環境科学センター 環境分析化学研究室 准教授として開催された「海洋マイクロプラスチック汚染問題」に関するシンポジウム。

「海洋問題とブラステックの活用とプラスチック汚染問題について」
 長村 直也 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 2019年、京都府立医科大学 環境健康学 准教授の長村直也氏が、海洋マイクロプラスチック汚染問題に関するシンポジウムで講演した。

「海洋問題とブラステックの活用とプラスチック汚染問題について」
 いとう 一穂 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 2019年、京都府立医科大学 環境健康学 准教授のいとう一穂氏が、海洋マイクロプラスチック汚染問題に関するシンポジウムで講演した。

シンポジウム
海洋問題とブラステック
 分析微生物研究の今

「海洋問題とマイクロプラスチック汚染問題の現状」
 島月 三恵子 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 京都府立医科大学 環境健康学 准教授の島月三恵子氏が、海洋マイクロプラスチック汚染問題に関するシンポジウムで講演した。

高沢 純次 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 第一回シンポジウム、海洋問題とブラステックの活用とプラスチック汚染問題について、高沢純次氏が講演した。

フクロリサーチ
 伊藤 真由美 京都府立医科大学 環境健康学 准教授
 京都府立医科大学 環境健康学 准教授の伊藤真由美氏が、海洋マイクロプラスチック汚染問題に関するシンポジウムで講演した。

Microplastic meets
ビーチクリーン

2月26日(土) 14:00-15:40
 ◎茅ヶ崎ヘッドランドビーチ・セブンビーチ

神奈川工科大学の地域連携 ～パートナーシップ～



かながわSDGsパートナーとの連携

高部金属とのパートナーシップ連携



高部金属



企業版学びあい
出前講座
リサイクルとSDGs



環境学習
バスツアー

明日葉とのパートナーシップ連携



明日葉



SDGs×理科実験教室
エネルギーとSDGs



SDGs×理科実験教室
マイクロプラスチック
からみたSDGs

31

国内SDGs研修（2022，2023）

企業のSDGsの取り組みを学ぶ研修



JTB



神奈川工科大学



放電精密加工研究所



株式会社 横浜環境デザイン

横浜環境デザイン

32

国内SDGs研修

1日目 (事前研修)

SDGsの基本理解

- プラスチック社会課題について学ぶ
- 現地視察のポイント
- 企業紹介「放電精密加工研究所とは」

2日目 (現地視察)

- 木工所で森林資源の実態を学ぶ
マルトシコーポレーション

3日目 (グループ討議)



これからのSDGs

2030年に向けた課題

今はSDGsを推進させる10年

目標達成に向けた5つの重点分野

ジェンダー、責任ある生産と消費、気候変動、海や山の生き物の保全

全ての主体の協働が不可欠

政府、企業、市民社会など、あらゆるステークホルダーの連携

SDGsに関する取り組みをご一緒に！



SDGs国内研修の 研修先

企業や自治体などとの連携により、SDGsに関する国内研修の受け入れを行う研修先を求めています。実践的な活動を通して参加者にSDGsの理解を深めていただきます。



かながわSDGs 「るるぶ」作成

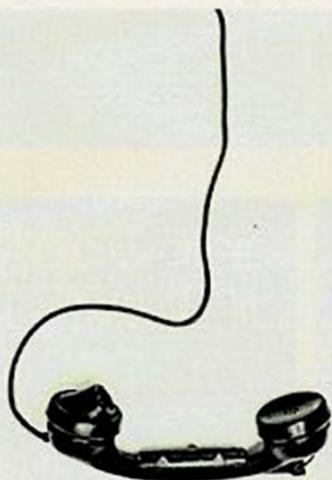
神奈川県内のSDGsに関する情報を収集し、わかりやすい冊子「かながわSDGs「るるぶ」」を作成。県民の皆様にSDGsの周知と理解を深めていただきます。



SDGsの普及・教育

上記の活動に加え、SDGsフォーラムの開催やアドバイザー派遣など、多様な角度からSDGsの普及啓発に取り組んでいます。

SDGsの達成には、企業、自治体、市民社会などあらゆるステークホルダーの参画と協力が不可欠です。私たちは、SDGsの理解促進と実践的な活動の場を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



お気軽にご相談ください

ご連絡お待ちしております。

神奈川工科大学 工学教育研究推進
機構・地域連携・貢献センター
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030

☎ 046-291-3212(直通)

✉ chiiki-koken@mlst.kanagawa-it.ac.jp